

打を打たれた井口拓皓(経 前日にサヨナラ 夢を払しょくすべく臨んだ かなかった。 撃陣は14三振とバットが湿 拓大2戦目であったが、 打線は4回までに3度、 前戦のリベンジとはい

前戦のサヨナラ負けの悪

が中前へ適時打を放ち、

なお

は走者を出すことができず。

白崎勇気(営3)が手痛い一

発

さらに9回、

連投となった

定した投球を続けていた先 得点圏に先制の走者を置く が、あと1本が出ず無得点。 で、絶対負けられないと思 っていた」と意気込み、 「昨日僕が投げて負けたの 均衡が破れたのは5回。 安

者に左越本塁打 み追加点を許す。 を浴び、その後も 味方の失策が絡 たい打線は赤木 その裏、反撃し

発・井口が先頭打

攻 替えられなかった」と、 も1死一、二塁で逆転の場面 り切れない。「感情が出て切り メットを投げ、悔しさを表し が、併殺打に終わり流れに乗

打ち取られるなど、 番打者に再び好機が訪れた 制の場面で三振に倒れた新る に白崎浩之(法2)。初回の先 6 8回には3者三振に 6回以降 ヘル

> 可能性がある限りこのチーム ないということだったが…。 ことはこの試合を落としたく なかった。 を浴び、最後まで流れが傾 「(白崎勇を)出したという

主将・笠間将裕(商4)は諦め を信じて試合をするだけ」と を落とし、入れ替 らの連敗で勝ち点 ていない。開幕か え戦に向けて厳し スタート。

戦・専大戦は絶対

次

に負けられない。

6 岡 310 4)赤 木 3 1 1 ⑤白崎浩 400 ⑦山 310 下 PH 柴 田 100 DH 北畠 310 ②上村新 200 PH 森田 100 林 (8) 200 H8 中 谷 100

000

000

大】

【駒

9奥

3笠

020

010

打安点

310

300

計 2951

201

000

5

1

拓

駒 大

▽二塁打=山下

野

間

打安責 回 6 1/3 2873 1/3 110 2 1/3 8 1 1

文=鈴

写真 = 桝島知 野木聡介